

3年生図書館活用教室

3年 特別活動
キャリア教育「図書館活用教育」
利用指導

ねらい

○高校を卒業し社会人になるにあたり、生涯学習の観点から、公共図書館の活用方法を学ぶ。

学 習 展 開

- ① 司書教諭が活用教室のねらいを説明する。
- ② 講師（県立図書館司書）が、実体験をとおして居場所としての図書館や様々な本と出合えることなど図書館の大切さを話す。
（以後⑤まで講師が担当。）
- ③ 県立図書館の説明をクイズ形式で行う。
- ④ 図書館に寄せられる様々なレファレンス（相談）事例とビジネス支援について説明する。
- ⑤ 持参した本の紹介（風変わりな本、匂いのする雑誌や起業に必要な高額な本など）
- ⑥ 司書教諭によるまとめ。
- ⑦ 図書委員による謝辞
- ⑧ アンケートの実施



楽しい本を紹介する講師

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、該当学年団（3年）と事前に協議をし、内容や時期について検討する。
- 司書は、講師に依頼するとともに、学年団の意見をもとに講師と内容について検討する。
- 司書は、講師から依頼を受け、資料を準備する。
- 司書教諭が進行を行う。
- 司書は授業に参加し、学年団、講師とともに生徒の支援を行う。

★指導のポイント

- ◆ 目的がなくても居場所として利用できることを伝える。（サードプレイスとしての図書館）
- ◆ 様々な相談に対応してもらえることを伝える。
- ◆ アンケートをとり、次年度につなげる。
- ◆ 紹介した本は、校内図書館にて展示と貸し出しを行う。

資料

県立図書館から変わった本を資料として持ってきてもらう。
『業界紙香料 2017.3』『ペット関連市場マーケティング総覧2006』『変な鳥ヤバい鳥どでか図鑑』『ふんばれ、がんばれ、ギランバレー！』『ザ・ビートルズ』（CD）他。